

2学期から新校舎へ ~今庄小学校落成式~

【3つの特徴】

●こどもたちのまちなような学校

普通教室を人に潤いと安らぎを与える木造とし、今庄宿を連想するまちなような学校としました。

●町有林で建てた学校

町有林の杉400本を伐採し、今庄ホールの丸太11本や、集成材に加工して柱材として使用しました。

●地域の人たちが学校づくりに参加

「設計ワークショップ」や「こどもワークショップ」を開催し、みんなの意見が詰まった学校となりました。



老朽化などのため移転改築が進められていた南越前町今庄小の落成式が29日、同校で行われました。町産材をふんだんに使い、木の温かさが感じられる校舎は、2学期から新しい学舎(まなびや)として児童たちを迎え入れました。

テープカットや小学生によるくす玉開被の後、屋内運動場で開催した式典には松村参議院議員をはじめ、来賓約120人と全校児童147人が出席。増澤町長は「新校舎が粘り強い子を育てるといふ同校の教育目標の象徴として機能し、21世紀の今庄を担う子どもたちが多く育つてほしい。」と式辞。木曾哲雄校長は「旧校舎になかった広々とした安全な設備や木の温もりを感じる校舎が完成してとても感謝している。郷土を愛し未来を担う児童のために学校を活用し、末永く大切にしていきたい。」と謝辞を述べました。

明るくて木の香りがいっぱい
素晴らしい学舎

今庄小学校見学会

9月1日、今庄小学校の見学会に約500人が訪れ、地元今庄産の杉を丸ごと柱に使ったホールや趣向を凝らした明るい教室など、木をふんだんに使った自然美あふれる新しい学び舎に、感嘆の声を上げながら見学していました。

小さな子と訪れた親子連れは「この学校に早く来たいね」と真新しい校舎に胸を弾ませ、今年2年生のお孫さんを持つおばあちゃんは「好奇心いっぱいの中を見て回り、孫の机にも座つ

てみました。立派な造りとふんだんに使われた木々の自然な感じが素晴らしい。こんな素晴らしい学校で勉強できて本当に幸せ」と目を細めていました。



学校概要

敷地面積	30,259㎡
延床面積及び構造	
校舎(1階RC造、2階木造)	3,286㎡
体育館(1階RC造、2階木造)	1,369㎡
ランチルーム(RC造平屋建て)	651㎡
プール(RC造平屋建て)	168㎡
合計	5,474㎡
総事業費	約28億3千万円